

欣

遣

奏

感

累

筆者「木村卜堂」

法帖名「草書千字文」

よろこあつま
欣び奏りて累い遣り、
わづら

うれ
感い「謝して」
しや

謝

謝

渠

渠

歡(歛)

歡

荷

荷

招

招

「うれ感い」しや謝して

よろこ歛まねび招く。きよ渠か荷は

的 的
莽 抽 歴 園
美 抽 歴 園

「じょう条を」ぬき抽んず。
的てきれき歴として、えんもう園莽は

晚

條(条)

翠

枇

杷

枇杷は晩く翠に
条を「抽んず」。